

# 内 容 説 明 書

1. 本工事内容については、以下のとおりを考えている。

勘定科目	工事種類	数量・単位	工 事 の 内 容
工種等			
561100 (普通)施設外注費	消雪井戸調査工	1 式	・既存資料収集、整理 ・新設井戸位置・構造検討
	消雪井戸新設工	1 式	・パーカッション工法によるさく井工
	井戸ピット設置工	1 式	・ピット内流量計設置、ピット内配管 含む
	送水管新設工	1 式	・H I V P φ 150 ・既設 As 舗装撤去・復旧含む
	発生土処分	62.0 m3	
	汚泥処分	135.1m3	
	アスファルト殻処分	0.8m3	・既設 As 舗装
	保安費	1 式	・列車見張員、重機誘導員

## 1) 消雪井戸調査工

- ・本工事で井戸新設を行う際、影響が発生する可能性のある井戸について事前調査を考えている。  
(井戸使用状況・水位・水質等)
- ・井戸新設を行う際の周囲環境への影響が発生しない箇所の選定、検討、提案等を含む。
- ・作業は昼間通常作業を考えている。

## 2) 消雪井戸新設工

- ・本工事で施工する新設井戸はφ350mm、深度155mを考えている。
- ・本工事で井戸掘削等の機械作業を行う際は、騒音・振動を発生させないように十分注意して施工すること。施工条件により、騒音・振動等の発生が考えられる場合は防音シート等により騒音・振動対策を行うことを考えている。
- ・段階確認により、変状等を確認した際は速やかに監督員等へ報告すること。
- ・井戸能力については、毎分1500L以上の吐出能力を考えている。
- ・近傍の電力・信通ケーブル等に損傷を与えないよう、施工前に位置を確認したうえで施工すること。また施工に支障する場合は、速やかに監督員に報告すること。
- ・さく井工の際に発生する発生土および汚泥を処分場まで運搬することを考えている。  
車両搬出時は、発生土・汚泥により構内通路等を汚さないように養生すること。  
また、構内通路等を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。
- ・過積載のないように運搬すること。
- ・作業は昼間営近作業を考えている。

3) 井戸ピット設置工

- ・井戸ポンプピット（埋設型）の設置を計画している。
- ・基礎砕石においては、RC-40、 $t=150\text{mm}$ とすることを考えている。
- ・掘削の際に発生する発生土および汚泥を処分場まで運搬することを考えている。車両搬出時は、発生土・汚泥により構内通路等を汚さないように養生すること。また、構内通路等を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。
- ・過積載のないように運搬すること。
- ・作業は昼間営近作業をを考えている。

4) 送水管新設工

- ・井戸新設に伴う送水配管敷設及び既設管への接続を計画している。
- ・既設管との接続箇所においては、凍結防止用保護済みの露出配管にて施工を行う。
- ・支障する既設アスファルト舗装の撤去復旧をを考えている。撤去に際しては、舗装版切断のうね破砕し処分場まで搬出することを考えている。
- ・アスファルトの復旧は、密粒度アスコン（AC20） $t=50\text{mm}$ とすることを考えている。
- ・既設舗装撤去、掘削時等において発生するアスファルト殻および発生土を処分場まで運搬することを考えている。車両搬出時は、発生土等により構内通路等を汚さないように養生すること。また、構内通路等を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。
- ・作業は既設管接続部箇所の施工は昼間営近作業、その他は昼間通常作業を計画している。

5) 発生土処分

- ・本工事において発生した発生土の処分をを考えている。

6) 汚泥処分

- ・本工事において発生した発生土の処分をを考えている。

7) アスファルト殻処分

- ・本工事において発生した発生土の処分をを考えている。

8) 保安費

- ・保安要員の配置等は、次の通り計画している。なお、追加工事等による変更が必要となった場合は別途協議を計画している。
- ・作業は昼間営近作業を計画している。

保安要員	配置期間	配置場所・人員
列車見張員	本工事必要期間中	現場：1名
重機誘導員	本工事必要期間中	必要の都度1名

以上